

YAMANASHI  
DISCOVERY  
MAGAZINE

VOL.  
**05**

2016  
WINTER

山  
梨

てて  
*teku-teku*  
くく

| 特集 |

煌めく  
ジュエリーの魅惑



山梨

てて  
Teku-Teku  
くく

『山梨てくてく』は

歩く速さでじっくりと

山梨の魅力を紹介していきます。

水晶が産出されたことから始まった、山梨のジュエリー産業。

今では国内のジュエリー出荷額の3分の1を占めています。

今回は「山梨ジュエリー」の歴史、職人の技、

山梨が発信する産地ブランドに触れながら、

甲府市を中心に『てくてく』。

こんな山梨があったんだ、と思える発見や感動を

見つけていただけたと思います。



VOL. 05

CONTENTS

特集

# 煌めく ジュエリーの魅惑

03

山梨ジュエリー。  
新世代が放つ輝き。

煌めきの中に宿る、ジュエリーへの情熱。  
職人の技とクリエイターの発想力の融合。

「てくてく」伝

08

凛として、美しいわけ。

「てくてく」食

12  
夜景を見ながら楽しむ  
地元食材を生かしたイタリアン。

「てくてく」住

14  
山梨への移住。  
その原点は、宝石への憧れ。

「てくてく」甲斐の国

16

甲府駅〈南口〉



Teku-Teku  
FEATURE

# 山梨ジュエリー。 新世代が放つ輝き。



[上] [Think...あふれる]  
(Koo-fu Collection 2016-SPLASH-)  
デザイナー 飯島恵子  
[下] [Cube]  
(born jewelry)  
貴石彫刻家 詫間康二



# 煌めきの中に宿る、 ジュエリーへの情熱。

ジュエリーの街、山梨から発信する

産地ブランド「Koo·fu(クーフー)」。

山梨で研究開発された<sup>※</sup>オリジナル素材と高度な加工技術、

そしてデザイナーの感性の融合により生み出されました。

「Koo·fu」のブランドテーマは、自然で繊細な優美。

作品はKoo·fuコレクションとして、県内外で発表されています。

人の心を引きつける魅力にあふれた「Koo·fu」。

そのプロジェクトに携わる若手デザイナーの一人、

飯島恵子さんにジュエリーデザイナーへの想いを聞きました。



※Koo-fuオリジナル素材

- Koo-fu Pt950  
従来のものより硬く傷が付きにくく、白く輝くプラチナ
- Koo-fu K18WG  
メッキ加工を施さなくても白く輝くホワイトゴールド
- Koo-fu K18YG, Koo-fu K18PG  
変形や変色しにくいイエローゴールドとピンクゴールド
- Koo-fu Ag950  
従来のものより純度が高く、変色しにくいシルバー

ジュエリーデザイナー

**飯島 恵子**さん (笛吹市出身)

山梨県立宝石美術専門学校卒業後  
(株)光新宝飾に就職

株式会社 光新宝飾

甲府市相生2-9-10 / TEL. 055-227-1666

## 世界に一つだけの ジュエリーに懸ける想い

飯島さんは就職した年からKoo・fuに携わっています。「Koo・fuは各会社の垣根を越えて職人やデザイナーが集まって取り組んでいます。ベテランの皆さんに囲まれて初めころは付いていくのに必死でしたが、今では自分にしかできない作品を考えていけるようになりました。特に心掛けているのが、正面から見ただけでは分からない裏側やサイドなどの細部にまでこだわったデザイン。それが商品のためであり、お客さまのためですから」

## Koo・fuの質の高さは 山梨だから実現できるもの

Koo・fuはオリジナルの地金を使用しています。例えば、純度の高いKoo・fuプラチナ950は硬くて傷が付きにくく、長くきれいに使えるよう研究開発された素材です。「加工は大変ですが、宝飾産業の長い歴史と伝統に培われた確かな技術がある山梨だからこそできるジュエリーなんです」と誇らしげに語る飯島さん。

来年Koo・fuは10周年を迎えます。「節目の年となるので、もう一度しっかり気を引き締め直し、新たなチャレンジをしたいと思っています。Koo・fuは若手の職人やデザイナーが持つ新しい力と、熟練の職人の考えが融合し、それぞれの個性が共鳴して生み出されるものです。一度手に取っていただくと、その魅力を感じていただけたらと思います」



【上左】『Toki／トキ』  
今、この瞬間も進み続ける、目には見えない「トキ」の流れを表現。  
(Koo-fu Collection 2013-Talk-)

【上中】『fringe／奏で』  
動きにあわせて自由に揺れる音を表現。  
(Koo-fu Collection 2014-Japan Color-)

【上右】『minamo／水面』  
太陽の光が水面を照らす。この一瞬の煌めきをカタチに。  
(Koo-fu Collection 2015-Mode Jewelry 直線と曲線-)



使いたい石をデッサンし、ジュエリーのデザインを考えていく飯島さん。「パソコンを使ってデザインする方もいますが、私はアナログ派なんです」と笑顔で話してくれました。





## 山梨発・新ブランド 「born jewelry」 伊勢丹新宿本店に出現

三越伊勢丹は9月、職人による一点物のジュエリー販売を行う「ISETAN MITSUKOSHI meets born jewelry」イベントを本館3F リ・スタイルで開催しました。顧客の声を具現化した独自商品（オンリー・エムアイ）キャンペーンの一環で、新たなファッションサイクルの一つとして、「希少性」「オーダー」などをキーワードに取り組みました。



## 職人の技と クリエーターの 発想力の融合。

職人と異業種クリエーターたちの

コラボレーションなどから生まれた、山梨発の新ブランド

「born jewelry（ボーンジュエリー）」。

コンセプトは、「ジュエリーを手に取りやすいように生まれ変わらせる」。それぞれの作品からは、

オリジナリティーあふれるファッション性が感じられます。

「born jewelry」立ち上げの代表、

仙洞田知紘さんにお話を伺いました。

心を揺さぶるジュエリーは、

「山梨愛」から生まれている。

「山梨の若手職人さんは、先代たちの足跡を汚さないようにという強い気持ちを抱き、先代に追い付き追い越すために、技術の研さんを積んでいます。しかし山梨のジュエリー産業の継続的な発展のためには、新しいことにも果敢にチャレンジしていかなければなりません」



[左]Plate Ring [右]Crush Ring (共に2016 1st collection)

金工と石彫の技法を使うのが私の作品の特徴です。右の作品は以前「欠っ込み※」という山梨の伝統技法を用いて水晶のグラスを作ったことがあり、そのグラスのイメージをそのまま生かしたものです。左の作品は原石の表情を生かして切り出したリングです。

[欠っ込み]…ダイヤモンドカッターなどの機材が登場する前、手作業で水晶から球を割り出していた時代の技。

## 職人兼クリエイターとして参加

伝統工芸士  
貴石彫刻家

## 詫間 康二さん

今回、高井さんがデザインした作品も制作しました。異業種の方とのコラボはそれぞれのターゲット層も違い、お互いの世界観に触れることができるので面白いです。今後さらに交流が深まれば、より刺激を与え合うようになるのでは、と楽しみにしています。



## 異業種クリエイターとして参加

子供服ブランド frankygrow  
デザイナー

## 高井 知寿子さん

山梨には世界で勝負できるクリエイターたちがいます。尊敬し合える仲間と「山梨」というキーワードでつながり、作品作りができることを光榮に思っています。



## 仙洞田 知紘さん

カガヤカ代表

「山梨を、日本をもっと輝かせたい」をコンセプトに、山梨県の伝統工芸・地域産業資源を独創的なスタイルで提案している「カガヤカ」。新ブランド「born jewelry」は「カガヤカ」の新プロジェクトとして今年3月に始動。

今回、ジュエリー業界で活躍する詫間康二さん、後藤晃一さん、大寄智彦さんと、子供服デザイナーや造園家、染色家など異業種クリエイターとのコラボを実現しました。「自分たちが生まれ育った故郷のために何かしたい」「地元愛」と、「山梨」というキーワードでつながった仲間たちとブランドをスタートさせたいと、あえて山梨ゆかりのクリエイターに声を掛けました」と力を込めます。

「山梨はジュエリーの一大産地ですが、これまでは主に高級宝飾品を扱っていたため、ユーザの年齢層は高い傾向にありました。そこで、できるだけ手に取りやすい価格帯で、なおかつファッション性の高いジュエリーを提案し、若い世代のユーザを増やしたいと思ったんです。山梨イコール、ジュエリーという認知をさらに広めていくためにも、いかに心を揺さぶる作品を作るかということが大切です」

凛として、  
美しいわけ。

「水晶峠産水晶晶族」  
(山梨大学所蔵)





## 山梨ジュエリー、 その長き歴史の歩み

ジュエリー出荷額日本一を誇る山梨はジュエリーを生産するための工程全てを賄える産地です。

山梨のジュエリー産業の歴史や展望について山梨ジュエリーミュージアム学芸員の中村安里さんは語ります。

山梨のジュエリー産業は、県北部の金峰山一帯を中心とする地域から水晶が産出されたことから始まりました。産業としての始まりは江戸時代末期にさかのぼるとされ、江戸時代の文献にも甲州は水晶の産地と記載されています。

天保年間に京都の玉造り職人が甲州へ水晶の買い付けに通う際、昇仙峡の奥地にある金桜神社の神職たちに玉磨きの技術を教えたことと伝えられています。その研磨の技術が神職たちから民間に伝わり、今日の山梨のジュエリー産業を支える職人たちに引き継がれています。

明治中期頃、水晶研磨の技術と「飾り」と呼ばれる貴金属加工の技術が結び付き、装身具に特化した産業が発展していきました。大正時代になるとカッティングの技術も飛躍的に進歩し、

さらに電力が導入されると、設備の機械化が進み大量生産ができるようになりました。

昭和に入り戦争が始まると、ジュエリーはぜいたく品として生産が止められ、水晶発振子などの軍事産業へ組み込まれていきました。甲府空襲により甚大な被害を受けジュエリー産業の復興は危ぶまれましたが、戦後進駐軍の兵士たちの土産品としての需要が高まり、山梨の水晶研磨産業は息を吹き返したのです。その後、東京五輪や高度経済成長を追い風に、高級宝飾品も動き始めるようになり、産業はさらに発展していったのです。

最近はこの業界に若い人の活躍が目立ってきたと感じます。産地ブランド「Kooofu」や、「born jewelry」といった若手中心の新ブランドもあります。また、国内ジュエリー業界において最も権威あるコンテスト「日本ジュエリーデザインアワード2016」で、県内企業の作品が大賞を受賞するなど、山梨のジュエリー産業の未来には期待が高まっています。



山梨ジュエリーミュージアム

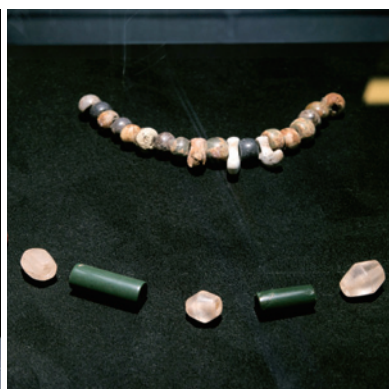
学芸員 中村 安里さん



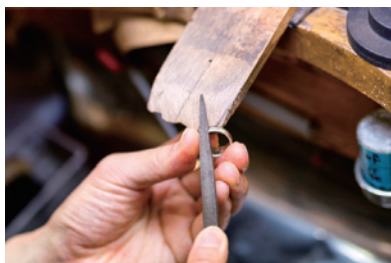
「着色黄水晶 帯留 (大正初期)」  
(山梨大学所蔵)



「第十号傾斜式双晶 (産出地:山梨県増富村小尾)」  
(山梨大学所蔵)



「上」石製勾玉、管玉  
「下」水晶製切り子玉 碧玉製管玉  
(山梨県立考古博物館所蔵)



## 猪股 進一さん

商品研究開発部 主任

株式会社 石友

甲府市川田町アリア106 / TEL. 055-220-1711

日本一の技を持つ職人たち。  
その想いとは。

「25年前にこの業界に入った当時は、手作業と機械化の共存がすでにある程度進んでいました」と、株式会社石友の商品研究開発部の猪股進一さんは語ります。

「初めは何も分からず、まずは、やすりがけを先輩から教えてもらい、徐々に技術と知識を身に付けていきました。仕事を覚えていくに従い、手作りに興味を持つようになり、この伝統の技を絶やすことなく残していきたいと考えようになりました。」

技術を受け継ぐこと、それは理屈ではないんです。頭の中では分かっているけど、実践してみると思うように仕上がらない。失敗して経験を積み、失敗を次の肥やしに……。その積み重ねです。そこで身に付いていくのが指先の感覚です。このくらいの力と言っても、数値にすることはできません。とにかく感覚なんです。職人として成長するためには、知識を深め、経験を積んでいくしかないんです。

ジュエリーは職人の技量により、仕上がりに大きな差が生じます。社内一貫生産を実践する当社の職人たちは、最新鋭の機械と昔ながらの道具を駆使しながら、原型、金型、鋳造、磨ぎに至るまでの全てをこなす力量を常に養っています」

研さんを積み、新たな技術を身に付け、時代のニーズに応えていく職人たち。山梨の宝飾産業を支える彼らは、いつも前を向いて進んでいます。



## 作品名

## 「Super Nova(スーパーノヴァ)」

デザイナー／瀬川 薫

製作者／株式会社 白金工房

応募者／アンプローズアンドカンパニー株式会社

星が一生涯の最後に爆発して輝く現象「超新星」を意味するタイトルで、「スーパーノヴァ」の最後の煌めきをトルマリンとブラックダイヤモンドで、再生する壮大なエネルギーをダイヤモンドとゴールドで表現した作品。

(右より)アームレット・ネックレス・イヤークラセット/Pt950・Pt900・K18YG・K18PG・K18WG/ダイヤモンド/トルマリン・ブラックダイヤモンド



県内企業、「日本ジュエリーデザインアワード2016」で日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞を勝ち得る。



## 山梨ジュエリーミュージアム

山梨の宝飾品加工生産の歴史、卓越した技術、美しい宝飾品の数々を紹介し、「山梨ジュエリー」の魅力を発信

住 所／甲府市丸の内1-6-1

山梨県防災新館1階やまなしプラザ内

T E L／055-223-1570

開館時間／10:00～17:30

(入館は閉館の30分前まで)

休 館 日／火曜日(祝日の場合は、その翌日)

年末年始

入 館 料／無料

山梨ジュエリーミュージアム

検索





## 夜景を見ながら楽しむ 地元食材を生かしたイタリアン。

TRATTORIA PIZZERIA IL POGGIO

オーナーシェフ 武井 俊之 さん

イタリアの食文化が教えてくれた  
野菜の魅力と奥深さ。

南アルプスや八ヶ岳など美しい山々を見渡せる市川三郷町にあるイルポッジョは、小高い丘の上に建つイタリアンのお店。眼下には甲府盆地が広がり、夜には宝石をちりばめたような夜景を眺めながら食事を楽しめます。

「美しく豊かな自然環境に恵まれたロケーションと、肥沃な土地で育つ野菜に魅了され、この地に店を構えました。野菜が持つ力の素晴らしさを知ったのは、修業時代にトスカーナからナポリ、シチリア、クラブリアなどイタリア各地を巡り、さまざまな郷土料理に触れたからです。日本では見た目を重視して野菜を切りますが、イタリアでは、あえてふぞろいな切り方をしていっています。でもその方が味に深みが出るのが分かり、イタリアンの奥深さを改めて知らされました。そんな経験から気軽に地域の食材を新鮮なまま食べてもらえるレストランを作りたいと思うようになったのです」

地元食材のおいしさを、  
心を込めたひと皿に。

「市川三郷町は大塚にんじんやトウモロコシかかんむすめ「甘々娘」のような特産品をはじめ、多種類の野菜が採れる地域なので、店で使う材料は、周辺の農家さんからもらったり、地元農産物の直売所で買ったたりしています。

また、店の裏の小さな畑ではハーブを作ったりしています。狩猟が解禁される時期には、地元のジビエもメニューに加えています。都会では考えられないような仕入れ方法が、ここではできてしまうんです。地域の皆さんとの交流のなか人の温かみを感じたり、観光で訪れた方が風景を楽しみながら食事をされている姿を目にしたりと、ここに決めてよかったと心から思います」

### トラットリアピッツェリア イルポッジョ

市川三郷町大塚4461-4  
TEL.055-269-9433  
営業時間：  
11:30~13:45(L.O) / 18:00~20:30(L.O)  
定休日：木曜日(不定休あり)





万次郎かぼちゃと鳥挽肉のトルテリーニ・ポルチーニ茸のソース  
イノシシの煮込みポレンタ添え



## 山梨への移住。 その原点は、 宝石への憧れ。

有限会社 タカノ 貴石工芸

貴石研磨職人 鵜飼 翔平さん

移住先 / 甲斐市

鵜飼さんは、ジュエリー制作において一定基準以上の能力を有する技術者を山梨県が認定する制度「ジュエリーマスター（上級）」に史上最年少25歳で合格した若き貴石研磨職人です。

幼い頃から宝石に憧れがあったという鵜飼さん。地元岐阜県の高校を卒業後、日本一のジュエリー産地で学びたいと、山梨県立宝石美術専門学校に進学しました。

「ジュエリー業界に関われるなら職種は何でもいいと考えていましたが、業界の最前線で活躍する講師の影響を受け、貴石研磨職人を目指すことにしました。当初、卒業したら地元に戻ろうと思っていたのですが、自然が豊かで、どこか故郷に似た雰囲気がある山梨が好きになりました。また、修業をする環境に恵まれていたので、山梨に残ることを決め、甲府市内の貴石会社に就職し、今年で6年目を迎えました」

## やまなし暮らし支援センター

専門相談員が常駐し、山梨への移住や就職について、ワンストップでお手伝い。移住セミナーや各種イベントも開催しています。

### ■やまなし暮らしセミナー

市町村の地域情報や移住者による体験談、個別相談などを行います。

12/ 4(日) 笛吹市セミナー …………… NPOふるさと回帰支援センター内

12/17(土) 甲斐市セミナー …………… NPOふるさと回帰支援センター内

### ■富士の国やまなし移住相談会

富士の国やまなし移住・交流推進協議会の会員が、住宅・不動産などの情報を提供。個別相談会や移住体験談セミナーなども行います。

H29.1/14(土) …………… 東京交通会館12F カトレアサロンB

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8F NPOふるさと回帰支援センター内

TEL.03-6273-4306 FAX.03-6273-4307

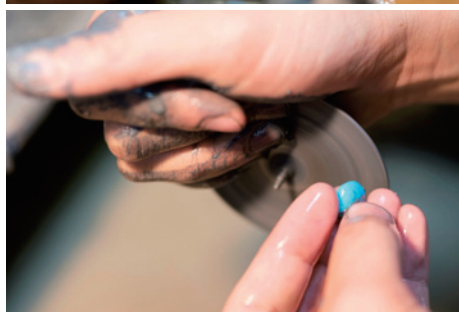
E-mail:yamanashi@furusatokaiki.net

利用時間：火～日曜日 10:00～18:00

やまなし暮らし 検索



ウサギの貴石彫刻は鶴飼さんの大切な作品。「新しい鉱物との出会いは、削る挑戦でもあります。地学的な観点からの考察も重要となるので、勉強し続けなければなりません」と、鶴飼さんの石に対する想いは深い。



私の夢は、デザインから研磨まで手掛けられるようになり、職人として独立し、有名になること。山梨の美しい自然にもインスピレーションを受けながら、夢に向かって進んでいきたいと思えます」

「私が宝石美術専門学校に入学した時、校舎は甲府盆地を見渡せる愛宕山の中腹にありました。ここからは富士山が見え、日が暮れ始めると、街の明かりがキラキラと輝き、とても神秘的な光景へと変わっていききました。」

「宝石は長い時間をかけて生まれた地球からの贈り物なんです。それが世界のどこかで掘り出され、旅をして私の手元にやってくる。そしてその石に私が手を加えさせてもらって、作品になる…このストーリーが好きなんです。石は人と同じように、同じ物の一つとしてありません。そこに魅力を感じます」

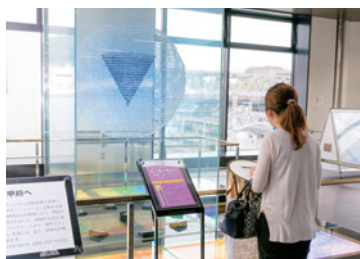




01

## クリスタルアース (甲府駅)

クリスタルアースを構成するのは、32面体カットの水晶約7千個。ジュエリー職人たちが7カ月をかけて一つ一つ手作業で研磨。



02

## 武田信玄公像

甲州武田軍を率いた武田信玄公の銅像が駅南口にある。銅像の高さは3・1メートル。軍配を手にした堂々たる姿は、さすがの風格。



03

## オープンガーデン やまなし(山梨県庁)

「かえての庭」「白鳳の庭」は四季折々の景色が楽しめる。日没後は、噴水広場周辺をライトアップし、幻想的な空間を演出。



04

## 山梨近代人物館

県指定有形文化財の県庁舎別館内に開設。山梨ゆかりの先人50人の功績に触れられる他、旧知事室など重厚な庁舎内部も必見。



05

## 山梨ジュエリー ミュージアム

山梨ジュエリーの歴史を伝えるだけでなく、ジュエリー作家、職人たちの作品を展示。ジュエリーを作る体験工房も人気。



06

## まるごと やまなし館

ワインをはじめ山梨の逸品を厳選したショップと、こだわりの県産食材を使ったメニューが楽しめるオープンカフェがある。



07

## オリオンイースト

中心街の路地裏の通りには、個性的なショップがある。ジュエリー業界で活躍する若手クリエイターたちのジュエリーにも出会える。



08

## 甲府駅前 ちようちん横丁

横丁の趣が残る一角。甲府の街中にはこんな庶民文化の風情も。横丁加盟の全店が「やまなしおもてなし宣言」をしている。



てくてく  
歩きの  
途中で...



オリオンイーストで、ジュエリーショップにお勤めしている女性に会いました。「この通りのジュエリーショップは工房を併設しているので、ジュエリーの修理やオーダーに訪れる方もいるんですよ」と教えてくれました。

富士を輝かせる宝石、みつけた。





甲府盆地の夜景が美しいわけは、盆地をぐるりと囲んでいる山々が、漆黒のビロードをまとった宝石箱のようで、無数の光のしずくの輝きと美しさを際立たせているから。少し高台に登って見下ろせば、広げた両手で抱けそうな、まるで私だけの宝石箱。(撮影場所:和田峠)

「よく人は、甲府を『播鉢(すりばち)の底』と評しているが、当たっていない。甲府は、もっとハイカラである。」(太宰治『新樹の言葉』)



てくてく巡る やまなし

山梨へは中央線の特急列車でどうぞ!

便利で快適な特急「あずさ」・「スーパーあずさ」・「かいじ」

主な停車駅

新宿

立川

八王子

甲府



特急「かいじ」・「あずさ」

特急「スーパーあずさ」

特急列車のご予約は「えきねっと」で!

えきねっと

会員登録  
無料

詳しくはホームページをご覧ください。

えきねっと 検索

www.eki-net.com

- 指定席がインターネットでラクラク予約!
- 窓口より早く受付開始!
- きっぷの受取りは指定席券売機でスピーディーに!

※運転日や運転時刻、停車駅などは事前にご確認ください。※掲載内容は2016年11月現在の情報です。ご利用の際はホームページなどで最新情報をご確認ください。※路線図や写真はイメージです。※一部の列車や一部の区間は「えきねっと」でお取り扱いしておりません。※満席等の理由により、座席をご用意できない場合があります。



山梨 てくてく *Toku-Toku*  
VOL.05 | 2016 WINTER

平成28年11月1日[季刊]  
第5巻冬号



やまなし森の印刷紙  
この印刷紙には、  
FSC®森林管理認証を  
取得した山梨県有林からの  
木材が使用されています。

山梨県

山梨県広聴広報課 発行 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
TEL. 055-223-1339 FAX. 055-223-1525 制作 山梨日日新聞社